家庭画報特選

きものSalon

きものサロン

2017
春夏号

実用特集

五、六、七月に何を着ますか？

尾野真千子さんが着る
女流作家の粋と華やぎ

大好評企画第二弾

今日の装い、そのワケは

羽織美人のお洒落

伝説の和髪師IKKOさんの

天からの贈り物 天蚕の煌

自分で作る付け帯

釜我敏子さんの世界

魅惑の沖縄

珠玉の美ら布（ちゅ）を求めて

賢い人の新常識

半幅帯のある暮らし

伊藤峯子 作
「黎明の静寂」

奈良の自然豊かな地、吉野で四姉妹の末っ子として育った尾野真千子さん。ピュアな演技が話題の注目の女優さんです。

四姉妹という賑やかな幼少時代、お正月などは4人できものを着て過ごしました。

「なかなか全員揃わないから、今となっては、懐かしい思い出です」。二十歳の成人式にお祖父さまから買っていただいた、虹色の振袖が今もお気に入りです。

飾りすぎない自然体できものを着たいという尾野さんに、今回は女流作家のきものを、凛とした雰囲気で着こなして、魅せていただきました。

明治時代や大正時代が舞台になっている物語の主人公を演じるときは、アンティークのきものを着ることもあり、「あの時代の面白さを取り入れたデザインのきものも着てみたい」と語りました。

夏の織り、花倉織のきものは お出かけにさらりとまとって

花倉織は琉球王国時代の王族のために織られていた夏の織りきものです。両面浮き花織に、絽織を合わせた格調のある織物。伊藤さんはまず糸を楊梅（やまもも）で淡いベージュに染め、その上からイメージした色を糸に染めて織ります。陽が昇れば艶やかな色が照らし出される、夜が明ける前の静寂を花倉織の中に表現しました。きもの・帯 ともに豊中・織元　帯揚げ 和小物 きくら　帯締め 道明　履物 銀座ぜん屋本店

「色絵七宝繋文茶碗」写し
友禅付け下げ

七宝文様を飛ばした簡潔なデザイン。さらりとした着こなしが都会に映えます。装いのコツは少しだけトーンの違う同系色の帯を合わせること。帯締めの色で季節感を表します。きもの地43万円　帯地38万円／ともに豊中・織元　帯揚げ／加藤萬　帯締め／道明　バッグ18万円／ぎをん齋藤　履物／銀座ぜん屋本店

春

爛漫の吉野山文様に憧れて

まったく同じ名称と主題を、同じ吉野山に取った茶壺があります。白釉と黒釉の2つからデザインしました。

色絵吉野山図茶壺」写し
禅訪問着

から、山深い吉野に桜が満
になる美しさは有名で、屏風
どにも描かれるほど。吉野山
茶壺の存在感にならって、ふ
わりとした雰囲気で着られる
問着に染めました。きもの(仕
て代込み)65万円／豊中・織
帯／おび弘　帯揚げ／加藤
帯締め／道明　バッグ／井
屋　履物／銀座ぜん屋本店

生皮苧(きびそ)入り綾市松織
「格子文きもの」

天蚕のあらゆる糸を用いて織った、浅緑色の綾織のきものです。八枚綜絖(そうこう)の市松織で、独特の地紋を織りだした柔らかい手触りの綾織に、天蚕繭の生皮苧で作った濃緑の太い糸を緯段に入れています。きものの色を邪魔しない生成り地に、金で正倉院華文を織りだした帯で。きもの／本郷孝文(本郷織物工房)　帯地30万円／豊中・織元　帯揚げ／加藤萬　帯締め／道明　リング105万円／ブチェラッティ(和光)　バッグ280万円／モラビト(モラビト 東京ミッドタウン店)